

1月5日（月曜日）

（第701号）

令和8年（2026年）

# 全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区一番町25番地

☎ 03(6261)9140

URL <https://www.zenmoku.jp>

謹  
賀  
新  
年



# 年頭のご挨拶

一般社団法人全国木材組合連合会

会長 菅野 康 則



新年あけましておめでとうございませう。旧年中は、皆様方には本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私たちを取り巻く社会・経済情勢は、今更申し上げるまでもなく、国内外ともに、引き続き大きな変化の中にあります。木材産業では、これまでの官民挙げた取組の成果から非住宅の木造物件も徐々に増えてきています。とは言え、少子高齢化の進行や住宅価格の上昇等により、戸建て住宅の着工が減少していることに加え、資材費やコストの増嵩、労働力不足の影響等により、大変厳しい経営環境の一年となりました。

反面、我が国の人工林資源は成熟期を迎え、合板、集成材、CLT等の技術開発はもとより、製材においては横架材など大きな規格の製品でも品質を向上させ、安定供給できる体制が整ってきています。また、「都市（まち）の木造化推進法」のもと、都市部においても木造による中高層ビル、商用・事業用施設等の建設が全国各地で着実に進んでおり、建築物のライフサイクルカーボン削減に向けた制度の検討にも着手されたところです。

このような木材需給の活性化の機運を迎える中で、「2050年カーボンニュートラル」の実現、持続可能な森林資源の循環利用、地域経済への貢献など、社会・経済からの様々な期待に応えるため、「伐って、使って、植えて、育てる」のスローガンの下、他の森林・林業・木材産業関係団体とともに、林業・木材産業が新しい時代にふさわしい一年を迎えられることを期待しています。

以上のような展開を実現するため、全木連として、国産材に

求められる品質や生産技術の向上、需要に応じた供給が可能なサプライチェーンの構築、木材の利用拡大、労働力の確保や適切な価格形成などの課題に取り組んでいきたいと考えています。また、改正「クリーンウッド法」が施行されたことから、林業・木材産業全ての事業者において、時勢が求める流れに乗って、合法性が確認された木材のみを流通させる義務を負うことを認識していかなければならないと思っております。

さて、今年の干支は丙午（ひのえうま）です。「丙」は「火のうしろ」を表し、「午」は「行動力と元気の象徴」と言われ、情熱とエネルギーをもって行動し、改革を実現する年になると言えるかもしれません。

全木連といたしまして、木材を優先する社会（ウッドファースト社会）の実現を目指し、地球温暖化の防止、地域社会の活性化に大きく貢献する木材の利用を拡大していくため一層努力して参りますので、皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 令和7年度 木材利用推進コンクール(内閣総理大臣賞) NISHIGAWA TERRACE(岡山県)

### <施設概要>

岡山市中心部、西川緑道公園に面する敷地に計画された、循環をコンセプトとした木造複合施設。地方都市の市街地に多い低層商業施設にフィットした一方向ラーメン、燃え代設計（準耐火構造）による木材現しの空間となっている。地方の中小製材所で製作可能な構成部材を用い、木材の調達、部材生産、建設までを地域内で担えることや、雨水循環による菜園への灌漑システムの整備など、工夫がこらされており、地方で展開可能な都市木造のタイプとなるのが期待される。



(バルコニー)



(建物外観)



(建物内観)

☆**木材利用促進のため、大勢の参加で大会を盛り上げよう!**

第60回全国木材産業振興大会(東京大会)

期日：令和8年10月29日(木)

場所：浅草ビューホテル 東京都台東区(懇親会会場・同ホテル)

# 年頭のご挨拶

## 全国木材協同組合連合会

### 会長 平方 宏



新年おめでとうございます。輝かしい新年の年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。皆様方には本会の業務運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、一昨年に引き続いた記録的な高温や、九州地方をはじめ全国各地で豪雨災害に見舞われました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。近年、異常気象による災害の多発のほか、自然環境や生活環境全般に対して地球温暖化の影響が顕著に現れるようになったと実感しています。

我が国では、「2050年カー

ボンニュートラル」を目標に掲げ、官民を挙げた取組が行われています。森林・林業・木材産業分野では、「伐つて、使つて、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を進め、木材利用を推進することにより、地球温暖化防止に貢献する取組を行っているところであり、林野庁や国土交通省をはじめとした関係行政機関に、都市部での木材利用、とりわけ国産材の活用に関する予算措置や施策の拡充等に取組んでいただいているところです。

最近では、民間の木造中高層ビルを目にする機会も増え、都市部においても森林や木材に対する理解や期待が高まってきています。この木材利用の取組に吹いている強い追い風をしっかりと捉え、国内の森林資源を有効に活用し木材の持続的な利用を着実に推進していくためには、今後とも業界自らが率先した取組を進めていくことが大事であると考えます。

特に、木材がこのような社会の要請に応えられる再生可能な

資源として期待されている今、持続的に経営されている森林からの産物であることや合法性が確認された木材を供給し、利用していくことが、これからの木材産業にとって大変重要なことと考えます。また、我が国の森林資源を有効に活用し、持続的な資源である木材の循環利用の推進を着実に進めていくためには、私ども業界自らが、川上・川下の皆様と連携して安定したサプライチェーンを築くとともに、合法性が確認された木材はもとより、木材が選ばれるような品質・性能の確かなJAS製品等の供給、木材利用の推進の働きかけなどの取組を更に進めていかなければなりません。

全木協連では、木材利用促進のための利子助成、リースに対する支援、共同事業、共済事業、外構部の木質化対策支援事業などを推進しています。これらの事業を通じて木材事業者の体質の強化と、供給体制の整備などに全木連とも力を合わせ取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして、明るい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 皆様に安心を提供する 全木連グループの各種保険制度 ～ケガ・病気の入院などの備えに～

従業員のために中型グループ

総合賠償補償制度

【第三者への事故対策に!】

任意補償制度

【労働災害への対策に!】

経営者のために総合保障プラン

木退共

【従業員の退職金の準備に!】

### 第17回新たな「木材利用」事例発表会

日時：令和8年3月2日（月）13：30～15：50

場所：木材会館 7階ホール（江東区新木場）

主催：（一社）全国木材組合連合会

木材利用推進中央協議会

定員：100名

（一般消費者、建築・設計、木材関係者等）

# 年頭所感

林野庁長官 小坂 善太郎



新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、2月下旬から3月にかけて岩手県大船渡市を始め各地で発生した大規模な林野火災や8月上旬の九州地方における大雨など、大災害が全国で発生しました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地で復興・復興に御尽力されている関係者の皆様方の御努力に敬意を表します。

林野庁としても、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組むとともに、昨年6月に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、防災・減災、国土強靱化のための森林整備や治山対策を一層推進してまいります。

また、社会問題化しているク

マ被害対策については、昨年11月に決定された「クマ被害対策パッケージ」に基づき、林業従事者等の安全確保の徹底を図るとともに、中期的な対策として生育環境の保全・整備に向けた針広混交林化や広葉樹林への誘導、堅果類の豊凶調査などに取り組めます。

先人の努力により戦後造成されてきた人工林の約6割が50年生を超え、利用可能な資源となっており、これを「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を確立し次世代に引き継いでいくことが重要です。近年、地球温暖化や生物多様性といった地球規模の環境問題が注目される中、これらの課題は森林が大きく関わっており、多くの企業が森林の循環利用に関心を持ち協力したいと考えてくれています。このような流れも追い風にしたいと考えております。

林野庁では、人工林資源の循環利用に向けて、路網の整備やスマート林業の推進、原木・木材製品等の生産体制の強化、JAS構造材やCLTの活用による木材の需要拡大、多様な担い手の育成・確保など、総合的な取組を進めてまいります。引き続き花粉症対策についても、ス

ギ人工林伐採重点区域におけるスギ人工林の伐採・植替えなどの取組を進めます。

また、森林所有者の高齢化や世代交代、不在村化等により森林経営への関心が薄れ、境界が不明確になるなどの課題に対処し、森林の健全な管理・経営を確保すべく、本年4月に改正森林経営管理法が施行される予定です。この改正により、地域の関係者が森林の将来像を共有し、経営管理の集約化を進める新たな仕組みを導入しました。市町村、森林所有者、森林組合、事業者等がこの仕組みを活用し、地域の森林を将来にわたって誰が管理・経営していくのかということを議論していただき、健全な森林が次世代に引き継がれることを目指します。

加えて、森林の保全と適正な利用に向け、本年4月施行の改正森林法において、許可条件違反に対する罰則を新設するなど、林地開発許可制度の実効性を強化します。また、昨年11月の「外国人の受入れ・秩序ある共生社会実現に関する関係閣僚会議」における内閣総理大臣指示を受けて、森林の土地の取得の届出において国籍を把握できるように取り組んでまいります。

森林の循環利用に欠かせない国産材の需要拡大に向けては、人口減少社会を迎える中、木材需要の多くを占めてきた住宅分野での木材の利用促進に加え、非住宅・中高層建築物の木造化・木質化を進めることが重要です。昨年のおお阪・関西万博では「大屋根リング」や各国パビリオンに多くの木材が利用され、木材利用の機運が高まりました。

さらに令和8年度からは、環境省と連携し、温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度（SHK制度）において、事業者が自らの排出量の算定に、木材利用等による炭素蓄積変化量を用いることができる仕組みの導入を予定しています。また、国土交通省においては、建築物のライフサイクルカーボンの削減に向け、令和10年度を目途に建築物のLCCO2評価の実施を促す制度の開始を目指して検討を進めており、林野庁も木材の省CO2効果が評価されるべく検討に参画しています。こうした中で、林野庁では、これらの仕組みを活用して、特に企業の社屋や店舗など非住宅分野での木材利用を進めるべく、昨年10月から、自治体や企業による木材利用の促進とその効果の「見える化」を進める、「森の国・木の街」づくり宣言に参画する方の募集を行っています。

また、森林の価値は木材生産だけではなくあります。森林空間を利用した体験プログラムの提供やカーボンクレジット取引を通じてつながりの生まれた地域と連携した森林づくり活動等が広がっています。林野庁では、こうした多様な森林サービスの提供・活用により、森林所有者や地域に利益を生み出し、豊かな森林づくりにつながる取組を「森業（もりぎょう）」と位置付け、山村地域の活性化や森林管理の充実に貢献してまいります。

本年は森林・林業基本計画の変更年です。現行基本計画に基づく施策の実績や森林・林業・木材産業の現状を踏まえ、本年

6月頃を目途に新たな基本計画を策定すべく、確実な再造林や生物多様性・林地保全に配慮した森林整備、木材の価値を最大化する流通・加工、都市等における木材利用の拡大、林業・木材産業の持続可能性やコスト構造に関する情報の伝達・共有などを主な論点として検討を進めています。森林・林業・木材産業には様々な課題がありますが、課題の先には大いに可能性があると考えています。森林・林業・木材産業の未来に希望を持っていただける基本計画となるよう、現場からの意見も踏まえながら検討を進めます。

林野庁としては、これらの取組を通じて森林・林業・木材産業を持続的に発展させていくとともに、我が国に暮らす全ての皆様が森林の有する多面的機能の恩恵を末永く享受できるように、日々邁進していく所存です。本年も、関係者の皆様、そして国民の皆様方の御協力をお願いいたします。

結びに、本年が、皆様一人一人にとって実り多き素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



福寿草

# 令和7年 重大ニュース



3/13 JAS 製材品普及推進展示会に替わる新たな表彰制度として、第1回日本製材技術賞表彰式を開催

3月



2/19-20 初めて木材産業特定技能1号測定試験を海外で実施（インドネシア スマラン）

2月



5/16-17 全木連、全木協連等の総会、理事会

5月



3/14 令和8年度予算等に関する要望等活動（金子恭之 衆議院議員 現国土交通大臣）

3月



5/16 建物木材利用促進協定の再締結（平方 全木協連会長、菅野 全木連会長、青山豊久 林野庁長官）



5/16 令和7年度施策の実行、令和8年度予算等に関する要望等活動（後藤茂之 衆議院議員）

5月



9/4 第59回全国木材産業振興大会（大阪）  
（会場：大阪市中央公会堂）

9月



6/19 令和7年度施策の実行、令和8年度予算等に関する  
要望等活動（宇波弘貴 財務省主計局長）

6月



9/4 記念撮影（懇親会）



9/4 第59回全国木材産業振興大会（大阪）

9月



9/5 大阪・関西万博（大屋根リング）



9/4 アトラクション、ミヤクミヤク（懇親会）

9月



11/18 鈴木憲和 農林水産大臣表敬（平方 全木協連会長、本郷 副会長）

11月



10/28 令和7年度木材利用推進コンクール  
（内閣総理大臣受賞者）

10月

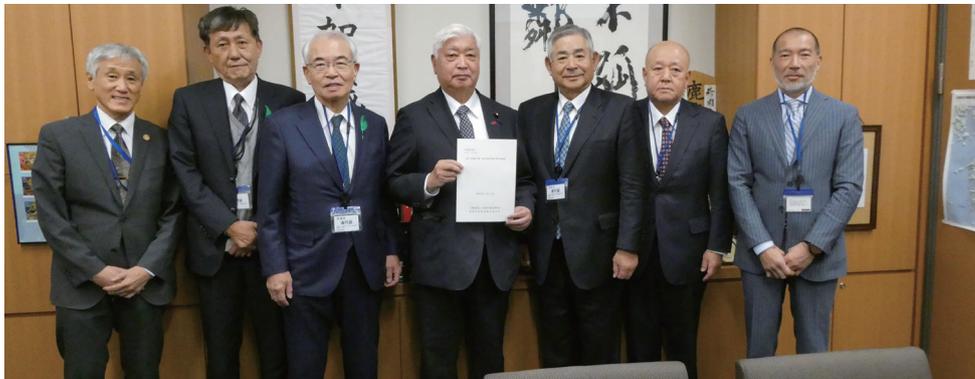


11/19 令和7年度補正予算、令和8年度予算等に関する要望等活動  
（小坂善太郎 林野庁長官）



11/19 全木連、全木協連等の臨時総会、理事会

11月



11/20 令和7年度補正予算、令和8年度予算等に関する要望等活動  
（中谷 元 衆議院議員）



11/20 令和7年度補正予算、令和8年度予算等に関する要望等活動  
（宿本尚吾 国土交通省住宅局長）



11/20 令和7年度補正予算、令和8年度予算等に関する要望等活動  
（根本幸典 農林水産副大臣）

# 景況調査

令和7年11月分集計表

（ ）内は実数

〔流通部門〕

モニター数156 回答数89 回収率57%

〔製造部門〕

モニター数133 回答数78 回収率59%

・当月の状況

販売量	増加26% (23)	変わらず52% (46)	減少22% (19)
仕入量	増加20% (18)	変わらず55% (48)	減少25% (22)
販売価格	上昇5% (4)	変わらず94% (83)	下降1% (1)
仕入価格	上昇13% (11)	変わらず86% (76)	下降1% (1)

・当月の状況

販売量	増加21% (16)	変わらず66% (50)	減少13% (10)
仕入量	増加21% (16)	変わらず67% (51)	減少12% (9)
販売価格	上昇4% (3)	変わらず96% (73)	下降0% (0)
仕入価格	上昇13% (10)	変わらず86% (65)	下降1% (1)

・来月の見通し

販売量	増加16% (14)	変わらず58% (52)	減少26% (23)
仕入量	増加17% (15)	変わらず61% (54)	減少22% (20)
販売価格	強含み4% (4)	保ち合い94% (84)	弱含み1% (1)
仕入価格	強含み16% (14)	保ち合い83% (74)	弱含み1% (1)

・来月の見通し

販売量	増加22% (17)	変わらず65% (50)	減少13% (10)
仕入量	増加21% (16)	変わらず66% (51)	減少13% (10)
販売価格	強含み9% (7)	保ち合い91% (70)	弱含み0% (0)
仕入価格	強含み14% (11)	保ち合い84% (65)	弱含み1% (1)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	19% (11)	73% (43)	8% (5)
南洋材	15% (7)	81% (39)	4% (2)
北洋材(欧州材を含む)	29% (16)	64% (36)	7% (4)
国産材	18% (14)	74% (58)	8% (6)
建材	16% (9)	78% (43)	5% (3)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	25% (6)	63% (15)	13% (3)
南洋材	27% (4)	67% (10)	7% (1)
北洋材(欧州材を含む)	29% (6)	62% (13)	10% (2)
国産材	15% (11)	64% (48)	21% (16)

・プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	34% (20)	59% (34)	7% (4)

・プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	38% (13)	53% (18)	9% (3)



江戸時代から続く伝統芸能「木場の角乗」  
(林野庁 福田木材産業課長も演技披露)

木場木遣り歌

**第60回全国木材産業振興大会（東京）への参加のお願い**

大会は10月29日に浅草ビューホテル（東京都台東区）において開催します。同会場は、東京の観光名所でもある浅草寺、雷門に隣接し、参道には雷おこし、人形焼きなどの老舗も立ち並び、伝統の食文化も楽しめる場所です。大会のアトラクションでは、江戸時代から続く「木場木遣り」歌で皆様をお迎えするなどの、ご満足いただけるような「おもてなし」を致します。

ついでには、全国木材協同組合連合会の創立65周年にも当たりますので、多くの皆様にご参加下さいますよう、よろしくお願致します。

◎ 好評発売中！

## 製材作業の入門書、外国人材学習の参考書

○ 製材作業の基礎

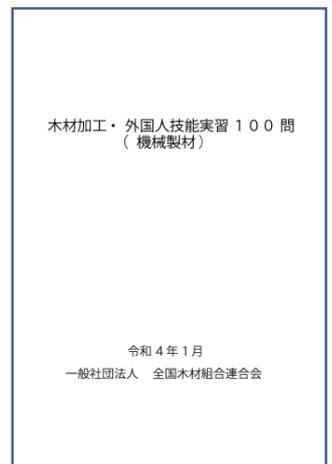
A4版 107頁程度 定価 3,000円 (消費税込み)

- ・主な内容  
木材の性質から、製材作業の工程、木材乾燥、作業安全などについて分かりやすく解説。安全関係では「農林水産業・食品産業の作業安全のための規範」も収録
- ・執筆者等  
服部剛昭氏（東京農工大学名誉教授）が推薦。桃原郁夫氏（森林総合研究所関西支所長）、村田光司氏（日本木材加工技術協会専務理事）、赤松明氏（ものづくり大学学長）外、製材関係の研究者・技術者陣が執筆

○ 木材加工・外国人技能実習100問（機械製材）

A4版 56頁程度 定価 2,000円 (消費税込み)

- ・主な内容  
外国人技能実習に必要な木材や製材機械についての知識、製材作業や安全衛生を一問一答方式で取りまとめ。各章ごとに参考問題（1～2号実習生を対象）を掲載し、併せて機械製材作業の資料を収録
- ・執筆者等  
全国木材組合連合会で「製材作業の基礎」を基本として、学識経験者（大学、森林総研、業界団体）の協力を得て編集



（ご購入について）

全木連ホームページから購入申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、全国木材組合連合会技能実習評価試験事務局にメール(ginou@zenmoku.jp)、もしくはFAX (03-6261-9133) にて注文してください。